



アンナと過ごした4日間



シャウト



ムーンライティング

Beauties presents
WEEKEND CINEMA Vol.6

イエジー・スコリモフスキの旅路



2015年11月27日(金)・28日(土)・29日(日)

会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)



引き裂かれた女



刑事 ベラミー



悪の華

Beauties presents
WEEKEND CINEMA Vol.5

サスペンスの巨匠、クロード・シャブロール

2016年1月15日(金)・16日(土)・17日(日)

会場 アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)

ヨーロッパでの映画製作期から祖国ポーランドへの帰還まで
イェジー・スコリモフスキの旅路



『シャウト』
1978年/86分/カラー/デジタル
監督：イェジー・スコリモフスキ
出演：アラン・ベイツ、スザンナ・ヨーク、ジョン・ハート

音楽家のアンソニーが出会った旅人クロスリー。オーストラリア先住民から授かった人を殺す叫び声を持つというこの謎の男の出現によって、アンソニー夫妻の生活は徐々に破綻していく。ロバート・グレイヴズの短編小説を映画化した本作は、ポーランドを離れたスコリモフスキがイギリスで制作した幻想映画の怪作。ドルビーシステムを本格的に採用した映画でもあり、大音量で響き渡る奇妙な「シャウト」が見る者を驚愕させること間違いなしの1本。



『ムーンライティング』
1982年/97分/カラー/デジタル
監督：イェジー・スコリモフスキ
出演：ジェレミー・アイアンズ、ユーージン・リビンスキ

ロンドンで不法滞在をしながら家のリフォームをする仕事を得た4人のポーランド人。リーダーのノヴァクは本国での戒厳令施行を知るが、仲間には告げられない。やがて彼らの不法就労は時間的・金銭的に追いつめられ…。当時ロンドンに移住していたスコリモフスキが、1981年12月ポーランドで施行された戒厳令にまつわる実体験をもとに製作。金勘定と労働に奔走する男達の姿が緊迫感のなかにふしぎな滑稽さを醸し出す。



『アンナと過ごした4日間』
2008年/94分/カラー/デジタル
監督：イェジー・スコリモフスキ
出演：アルトゥル・ステランコ、キング・ブレイス

スコリモフスキが数十年ぶりにポーランドで製作した長編映画。強姦の現場を偶然目撃し冤罪で刑務所に収監された向気な中年男レオン。出所後、自宅の向かいに事件の被害者アンナが住んでいると知ったレオンは、彼女の部屋に忍び込み独自の「愛」の行動をエスカレートさせていく。ある日本人が起こした実際の事件に着想を受けたという本作は、複雑に入り組んだ構造が奇妙な陶酔感をもたらす、スコリモフスキ流「愛」の物語。

《上映スケジュール》

| | | | | |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------|
| 11月27日 [金] | 11:00 アンナと過ごした4日間 | 13:30 ムーンライティング | 16:00 シャウト | 19:00 ※終了後トークあり アンナと過ごした4日間 |
| 11月28日 [土] | 11:00 ムーンライティング | 13:30 シャウト | 15:30 アンナと過ごした4日間 | 18:00 ※終了後トークあり ムーンライティング |
| 11月29日 [日] | 11:00 シャウト | 13:30 アンナと過ごした4日間 | 15:30 ムーンライティング | |

《トークイベント》

- 11月27日 (金)
19:00～『アンナと過ごした4日間』上映終了後
五所純子さん (文筆家) トーク
「スコリモフスキ映画を語る」(30分程度)
- 11月28日 (土)
18:00～『ムーンライティング』上映終了後
遠山純生さん (映画批評家) トーク
「スコリモフスキの小宇宙」(30分程度)

イェジー・スコリモフスキ

1938年ポーランド生まれ。ウッチ映画大学在学中に製作した『身分証明書』(64)で長編映画監督デビュー。しかし『手を挙げろ!』(67)でのスターリン批判で上映禁止処分となり、祖国を離れる。ベルギーで製作した『出発』(67)が第17回ベルリン国際映画祭で金熊賞を受賞。その後もイタリア、イギリス、アメリカと国を渡り歩きながら様々な作品を発表し続ける。また『イースタン・プロミス』(07)、『アベンジャーズ』(12)など、俳優としての活動も有名。新作『11 Minutes』は来年公開予定。



映画配信サイト
Beauties

Beauties (ビューティーズ) ……ヨーロッパを中心とした選りすぐりの作品を配給しているマーメイドフィルムが、選び抜かれた映画作品を一本一本大切に紹介していきます。1作品350円で2日間10回まで再生可能です。お手持ちのモバイル、PCで高画質な映像をお楽しみいただけます。http://beautiesweb.com

第1回配信 “フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ”

- 『グッバイ・ファーストラブ』(監督ミア・ハンセン=ラブ)
- 『スカイラブ』(監督ジュリー・テルビー)
- 『ベルヴィル・トーキョー』(監督エリース・ジラル)



第2回配信 “ロバール・ブレッソンの芸術”

『スリ』『ラルジャン』(監督ロバール・ブレッソン)



Beauties presents WEEKEND CINEMA は、配信サイト Beauties と連動した映画上映会です。上映と共にさまざまなゲストによるトークショーも行い、映画の美しさ、楽しさ、感動をお伝えします。劇場で、オンラインで、ぜひご堪能ください。(※後日トークショーの様子も動画配信予定) 連絡先 マーメイドフィルム TEL: 03-3239-9401

“フランスのヒッチコック”と呼ばれた男
サスペンスの巨匠、クロード・シャブロール



『悪の華』
2003年/104分/カラー/デジタル
監督：クロード・シャブロール
出演：ナタリー・バイ、ブノワ・マジメル、ジュゼップ・フロノ

フランスのブルジョア一家の複雑な人間関係を描き出した、拡張高さサスペンス。市長選に立候補したヴァスール家の女主人アンヌのもとに一枚の中傷ビラが届く。これを機に、第二次世界大戦時の罪深き過去からある殺人事件の真相まで、一見優雅で平穩に満ちた家族の秘められた過去や頹廃的モラルが暴かれていく。アンヌ役は、ゴダール、トリュフォーらの映画で活躍した女優ナタリー・バイ。その息子を『ピアニスト』のブノワ・マジメルが演じている。



『引き裂かれた女』
2007年/115分/カラー/デジタル
監督：クロード・シャブロール
出演：リュディビヌ・サニエ、ブノワ・マジメル、フランソワ・ベルレアン

著名な作家サン・ドニと裕福な御曹司ポールに愛される、お天気キャスターのガブリエル。複雑な三角関係が生んだ悲劇をエロティックに描いた本作は、1906年にNYで起きた「スタンフォード・ホワイト殺人事件」(過去にもリチャード・フライシャーやミロシュ・フォアマンが映画の題材にしている)に着想を得てつくられた。リュディビヌ・サニエの残酷な奔放さと、女への盲目的な愛ゆえに墮ちていくブノワ・マジメルの繊細な演技が魅せる。



『刑事ベラミー』
2009年/110分/カラー/デジタル
監督：クロード・シャブロール
出演：ジェラルド・ドバルデュー、ジャック・ガンブラン

実際に起こった保険金詐欺事件をもとにしたシャブロールの遺作。砂浜に残された黒こげの自動車と焼死体を皮切りに、複雑怪奇な事件にまきこまれていくベテラン刑事ベラミー。事件を追ううちに彼と家族の微妙な愛憎関係も明らかになり…。主演はシャブロール映画には初出演のジェラルド・ドバルデュー。妻思いで美食家という人間味あふれるベラミーの造形には、シムノンのメグレ警視シリーズへのオマージュが込められている。

《上映スケジュール》

| | | | | |
|-----------|------------------|------------------|------------------|----------------------------|
| 1月15日 [金] | 11:00 引き裂かれた女 | 13:30 刑事ベラミー | 16:00 悪の華 | 19:00 ※終了後トークあり 引き裂かれた女 |
| 1月16日 [土] | 11:00 悪の華 | 13:30 引き裂かれた女 | 16:00 刑事ベラミー | 18:30 ※終了後トークあり 悪の華 |
| 1月17日 [日] | 11:00 刑事ベラミー | 13:30 悪の華 | 16:00 引き裂かれた女 | |

《トークイベント》

- 1月15日 (金)
19:00～『引き裂かれた女』上映終了後
五所純子さん (文筆家) トーク
「シャブロール映画を語る」(30分程度)
- 1月16日 (土)
18:30～『悪の華』上映終了後
廣瀬純さん (映画批評家) トーク
「シャブロールとサスペンス」(40分程度)

クロード・シャブロール

1930年フランス生まれ。『美しきセルジュ』(58)で長編映画デビュー。続く『いとこ同志』(59)をはじめ、ヌーヴェルヴァーグの作家たちのひとりとして活躍。60年代後半以降は刑事ものやサスペンス作品を多く手がけるようになる。ステファヌ・オードラン主演『不貞の女』(69)『肉屋』(70)、イザベル・ユペール主演『主婦マリーがしたこと』(88)、サンドリーヌ・ボネール主演『沈黙の女』(95)など、様々な俳優たちと生涯に54本もの長篇作品を遺した。2010年9月12日、死去。



【料金】一律800円
※会員、学生、シニアも問わず一律800円
※前売券はありません。

【会場】アンスティチュ・フランセ東京 “エスパス・イマージュ” (飯田橋)
最寄駅・飯田橋駅: JR 総武線、東京メトロ有楽町線・南北線・東西線、都営地下鉄大江戸線
駅からの所要時間 (徒歩)・JR: 西口より7分 地下鉄: B3出口より7分
問い合わせ電話番号: 03-5206-2500 URL: www.institutfrancais.jp/tokyo

